

糸井地区と発掘 糸井宮ノ前遺跡から

糸井の小高神社周辺は、昔から土器の破片や矢じりが見つかっていた。そのため、開発には遺跡調査が必要となっていて、幾つかの地域では調査が行われており、縄文・平安時代にかけての住居跡や様々な土器が発掘されている。

三十年ほど前になるが、東小学校の改築工事では、学校の敷地内で発掘調査が行われた。宮ノ前遺跡と呼ばれるようになるこの調査からは、縄文中期の土器、翡翠製の装飾品、呪術関係遺物、住居跡、土器などが発掘された。また、原石や未完成の石器が多く出土し、石器製作の拠点であったことなどが推測されている。

次の古墳時代の竪穴式住居の調査では「かまど」の構造が大型でしっかりとし、季節風に対応しているという特色を持っている。また、遺跡の水田跡からは湧き水を引き込むための測量や灌漑技術があったことも認められた。さらに、遺跡の近くには常木古墳群や八日市古墳等もあり、集落と古墳造成との関係も注目された。



▲灰釉陶器

その後の奈良・平安時代の地層の住居跡からは、食膳具（木製のお椀や皿等）や貯蔵具や洗練された須恵器も出土している。この時代になると身近な生活用品の発達が見られる。一方、灰釉陶器という釉薬を用いた美しい陶器が出土し、祭祀用に使われていたらしい。東海地方で生産されていた灰釉陶器が本地域にまで届くことは、律令制度が整う中で、物流の仕組みも整ってきたようである。

参考「糸井宮ノ前遺跡」報告書

昭和村ボランティアガイドの会
理事 堤 義樹



地域包括支援センターだより

聞き飽きないで！熱中症対策

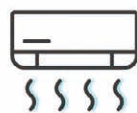
今年の夏の気温は全国的に平年より高く、厳しい暑さになる見通しです。
「熱中症警戒アラート」発生時には、外出をなるべく控えて暑さを避けましょう。

こんなところに**注意**しましょう！

屋内でも注意しよう

たとえ屋内であっても、温度・湿度が上がると熱中症になってしまいます。
エアコンや遮光カーテン、すだれを活用し、室温を調整しましょう。

適切な
冷房利用



温度・湿度
に注意



屋外では帽子を被ろう

屋外で活動する時は、日傘や帽子を着用し、直射日光を避けましょう。
日中の温度が上がり「熱中症警戒アラート」が発生する日は、外出をなるべく控えましょう。

直射日光を
避けよう



体に熱をためこまない

涼しい衣服を着用し、体に熱をためこまないようにしましょう。
また、保冷剤や冷やしタオルなどの冷却グッズで体を冷やすことも効果的です。

涼しい
服にしよう



冷却グッズを
活用しよう



こまめな水分補給を

日中、知らず知らずのうちに汗をかいています。
のどが渇いていなくても、1日コップ6杯を目安にこまめに水分・塩分補給を行いましょう。



問合せ 地域包括支援センター ☎ 30-2121

